

2015. 11. 29 近畿双松会総会

ご来賓挨拶

松江北高校 校長 泉 雄二郎（高26）

皆様、こんにちは。

ご無沙汰をいたしております。昨年に続きましてお招きをいただき有難うございます。

近畿双松会の皆様のご活躍ぶりはHPでつぶさに拝見しています。HPの累計アクセス数が3万件になるとも聞いておりますし、落語や文楽鑑賞会、ゴルフ会、歴史ウォーキングやハイキングなど活発な活動をされておまして、我々現役も心強い思いをいたしております。

さて、去年この場で二つのことを報告させていただきました。一つは「最近、北高生には元気がない」ということ、もう一つは「戦後70年を経て、今、北高は転換期にある」ということでした。

まず、「元気」がない、ということですが、今年は少し元気になりました（笑）。何をもって元気があるのかと言うことはむづかしいですが、例えば、今年は5年ぶりに県の高校総体で男子も優勝、女子も優勝の総合完全優勝を果たしました。（拍手）

バドミントン、登山、弓道、ボート、陸上競技が全国大会に出場しました。中でも陸上競技の女子800mで2年生の女子生徒が大活躍をしておまして、皆様の中からも応援に来ていただいた紀三井寺での全国インターハイでは残念ながら5位でしたが、その後、国体5位、そしてこの秋の全日本ジュニア（大学1年まで）では2年生で出場して遂に優勝しました。今、同世代では一番強いということになり、東京オリンピックの強化選手にも指定されつつあると聞いています。これも、先輩の皆様方の後押しのお蔭ではないかと思っています。

また、文化系のクラブでも今年は活躍したクラブが多くて、放送部、美術部、囲碁・将棋、百人一首・カルタが全国大会に出場しました。百人一首・カルタでは、読手の部門で全国2位の2年生の女子生徒が出ました。これも来年は全国チャンピオンになるものと期待しています。また合唱部が6年ぶりにNHKの全国学校音楽コンクールに出場しました。入賞はできませんでしたが久しぶりのことで大変喜びました。

その他にも地域課題の発表とか、読書感想文とか、国際貢献に関する弁論大会、英語ディベート大会、科学の甲子園とかの全国規模の大会にも2年生を中心に出場することになっていまして、これから成果があがってくるものと考えています。よく新聞に「北高が・・・」と活躍の様子が載ることがありますが、その度ごとに、近隣の学校からは「又、北高かや」と言われるような勢いで活躍しているところでございます。

さて、「転換点」ということについてですが、来年は創立140周年を迎え、旧制中学70年、新制高校70年を経過し、いよいよ次の70年に入るという意味で転換点と申し上げています。

川津校舎の時代は学年11クラス各55名とか、全校生徒で1,500人を超える時代があったとお聞きしていますが、現在は北・南・東の普通高校三校で学年8・8・6クラスです。それが来年

からは北・南は1クラス減で7・7・6クラスになる予定です。これから5年間で中学3年生が300人減ると言われていまして、これは北高規模の学校が1校なくなるということですので大変な時代を迎えております。

ご承知のように松江市内は小学区制で、出身小学校で進学する普通高校も決められていますが、こういった「校区の見直し」とか様々なことが今後の課題になってきております。7クラスを維持することもなかなか難しい状況になっておりまして、北高としては今まで三校は等質等量ということでやってきましたが、そうも言ってはおれないという状況になってきておりまして、三校がそれぞれの特色を出す、差異化をすすめていく時がきたと考えています。

北高がめざすところとしては、私は「No1スクール」と言うよりは「リーディングスクール」という言葉を使っていますが、松江と言わず全県をリードする勢いのある学校になっていく、一層に存在感を高めていくことが必要な時代になってきていると考えております。

具体的な方法としては、ひたすら受験勉強に励むことはこれはこれで重要なことだと思いますが、もう少し「外に目を向けたい、外に向かって学びを取りに行く姿勢を醸成したい」と考えています。身近な地域の課題を考えさせる、さらには外国にも出かけて体験、経験を積ませる、その過程で自分はこれからの社会をよくしていくために何ができるか、どうすべきかを考えさせ、そこから「学び」に火をつけていきたい、という取り組みを始めたところでございます。

先ほど勝部副会長のお話にもありましたように、北高のグローバル戦略を推進するために140周年を記念し「世界の人たれ北高基金」の創設と5年間で目標1,000万の基金を双松会にお願いいたしました。

アメリカなど海外への派遣費用にはそれなりに資金が必要ですし、一人でも多くの生徒に経験させてやりたいと思っております。また、それ以外にも地域課題研究のチームもつくってございまして、資金があればいろいろなことも可能になりますので、現役生へのご支援を賜りたいと思っている次第でございます。

最後になりましたが、こうして皆様のご活躍ぶりを目の当たりにいたしますと、やはり生徒たちを元気づける源は、日常の授業や部活動に加えて、双松会の先輩の皆様、保護者の皆様、地域の有志の皆様、進学する大学のご協力等々の支えがあってこそ、つまり学校外のいろいろな社会との接点があって初めて生徒たちも元気づくのだと思います。

学校内にどんどん社会からの風を吹き込ませたいと考えております。皆様は広く国内外でご活躍をされてきておりますので、是非お知恵をお貸しいただきますよう、又、皆様がお持ちの様々なネットワークに生徒、教員をつないでいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、近況報告とお願いをさせていただきます、ご挨拶とさせていただきます。

本日のご盛会、真におめでとうございます。